

令和 3年 3月 6日

加盟校各位

公益財団法人全国高等学校体育連盟フェンシング専門部
部長 諸江克昭

第45回全国高等学校選抜大会（大阪選抜）における
新型コロナウイルス感染またはその疑いへの対応について

チーム関係者に新型コロナウイルス感染症が発生、またはその疑いがある場合の対応につきまして、下記のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

1. 大会参加について

※以下チームとは、その学校から出場しているすべてのチームを指す

第45回全国高等学校選抜大会（以下大会）に参加する者は、ONE TAP SPORTS（ワンタップスポーツ）を活用し、大会参加2週間前から大会終了日までの「体調記録」「行動記録」の入力をお願いします。ONE TAP SPORTS を活用しない者及び、発熱症状を有する者を含むチームは大会に参加することはできません。

2. 対応

感染またはその疑いがある際は、他の団体やその後の大会にも影響を及ぼす可能性が高い事を鑑み、次のとおり決定します。

（1）チーム内（監督・選手）で感染者、濃厚接触者が出た場合の対応

対応順位①～

大会前

- ① 各県の保健所の指示に従う。 ※「4. 報告方法について」を確認
- ② 大会開会式2週間前から濃厚接触者と認定された者を含むチームは出場を辞退していただく。

大会期間中

- ① 大会が開かれている開催地の保健所の指示に従う。
- ② 各校の代表者は、速やかに大会実行委員会及び学校長に報告する。
- ③ 陽性者が判明したチーム及び対戦したチームは、集団感染の発生が懸念されるとして棄権を指示する。

大会後

大会後に、感染確認された場合でも速やかに大会実行委員会に報告をする。

※「4. 報告方法について」を確認

(2) チーム内（監督・選手）で感染が疑われる症状が出た場合の対応

対応順位①～

大会期間中は、日程的にも余裕はなく、保健所からの判断を待つ時間がない場合も多くある。そのため、大会期間中は次のように判断し、集団感染を発生させない対策を取ることとする。

- ① 他の部員も感染の疑いがあるとして、そのチームには棄権を指示する。
- ② 対戦した相手チーム内から感染が疑われる者が出た場合、感染の疑いがあるとして、そのチームには棄権を指示する

(3) 選手・監督の家族または学校・勤務先に感染者、濃厚接触者が出た場合の対応

大会前 大会期間中

- ① 選手・監督が濃厚接触者であるかどうかを確認する。
- ② 濃厚接触者となった場合は、2.（1）～の流れに沿って対応する。

3. 大会中止について

大会主催者は感染拡大の恐れが高いと判断した場合は、大会の中止を判断する。

※目安：全参加校数の三割の辞退が発生した場合

4. 報告（連絡）方法について

感染者や濃厚接触者が発生した場合は、保健所より指示を受け、大会実行委員会に状況の報告をお願いします。

(1) 大会前・大会期間中

緊急連絡先： 080-1031-0534 大会実行委員会 柳本

(2) 大会後

緊急連絡先： 06-6771-5701 上宮高等学校 柳本

報告内容※ 濃厚接触者の判断は、個人や団体で行わず、必ず保健所の判断を仰ぐ。

- ・氏名及び緊急連絡先
- ・濃厚接触者に該当すると判断した保健所の名称
- ・保健所から濃厚接触者に該当すると連絡があった日
- ・保健所から健康観察期間として不要不急の外出を控えるよう指示されている期間
- ・保健所によるPCR検査の結果又は検疫所による抗原定量検査の結果

陽性者発生情報に関しては、選手、チームへの差別偏見につながることから、詮索、公表等については避け、プライバシー保護に努めるようお願いします。

「濃厚接触者」の定義

新型コロナウイルス感染症の PCR 検査等で陽性となった者（患者）と、感染の可能性のある期間（症状が出る 2 日前から入院等になるまでの期間）に接触し、以下の範囲に該当する場合は濃厚接触者と定義されます。

濃厚接触者に該当するかどうかは、保健所が判断します。

- 患者と同居あるいは長時間の接触（車内・航空機内等を含む）があった者
- 適切な感染防護（マスクの着用など）なしに患者を診察、看護もしくは介護をした者
- 患者の気道分泌液もしくは体液などの汚染物に直接触れた可能性のある者
- その他：手で触れることのできる距離（1メートル）で、必要な感染予防策なしで患者と 15 分以上の接触のあった者
実際には、この定義をもとに、保健所が患者、または家族や会社などから聞き取り調査をし、状況に応じて総合的に判断します

※ 航空機内の場合については、国際線においては患者（確定例）の前後 2 列以内の列に搭乗していた者、国内線においては患者（確定例）の周囲 2メートル内に搭乗していた者をそれぞれ原則とする。ただし、患者（確定例）が搭乗中に長時間マスクを着用していなかった場合や、発熱・咳嗽等の症状を呈していた場合、当該航空機内で多くの患者（確定例）が確認されている場合等は、これらを超えた範囲に搭乗していた者についても個々の状況から感染リスクを考慮し、必要に応じて濃厚接触者とする。

（参考）国立感染症研究所感染症疫学センター

令和3年1月8日版

「新型コロナウイルス感染症患者に 対する積極的疫学調査実施要領」より